

# 1/17(日)

13:00~16:00

2021年 千葉大学病院

がん市民公開講座

in WEB



## with コロナ時代のがん治療

— 変わらないサポートがここにある —

### WEB 開催

以下の URL か QR コードにアクセスして参加の事前登録をしてください。

### 事前登録必要

2021年1月16日までに右のQRコードまたはURLから登録してください。

2021年1月24日までオンデマンド配信を行います。

オンデマンドで視聴される方も事前登録をお願いします。

<https://ws.formzu.net/dist/S80715118/> ▶



問合せ  
Contact



043-226-2806

千葉大学医学部 臨床腫瘍学 (担当: 庄司)  
受付時間 10:00~16:00 ※土日祝日を除く



## 「with コロナ時代のがん治療」

滝口 裕一

千葉大学病院 腫瘍内科長



2020年は世界中が新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。皆様も大変ご不便な思いをされたでしょうし、何よりもご自分やご家族、身の回りの方々のご健康についてご心配なさっていることと思います。病気を抱えている、特になんと戦っている患者・家族の皆様にとってはなおさらだと思います。千葉大病院は平成20年以降、がんに関する市民公開講座を毎年開催しており、今年で14回目になります。これまでは皆様にご集まりいただいたの開催でしたが、今年は新型コロナ感染予防のためオンライン開催に致します。これによりご参加できなくなった方やご不便に感じる方も多くいらっしゃることは覚悟の上で、私たちとしても苦渋の選択をせざるを得ませんでした。新型コロナ感染症に負けて市民公開講座を中止してしまったら、とてもがんには打ち勝てないだろうと考え、どんな困難があってもこのがんに関する市民公開講座は決して中止すまいと心に決めました。そこで今年のテーマは「with コロナ時代のがん治療～変わらないサポートがここにある～」としました。感染対策の注意点と共に、病氣と戦う患者・家族の皆様に対する千葉大病院の強い思いをお伝えできればと思います。特別講演には松本陽子様 (NPO法人愛媛がんサポート理事長) をお迎えし「自分らしくあるために備えておきたいこと」と題したご講演を賜ることになっております。がんに打ち勝ち、患者支援団体の理事長を含む多彩な社会活動でご活躍されている松本様のご講演はきっと皆様の心に響くことと思います。いずれの講演も楽しみにしていただきたく存じます。

短い時間で、お伝えできる情報には限りがありますが、自分や愛する人の健康を願う皆様のお役に立てれば幸いです。

最後に、新型コロナウイルス感染症が1日も早く克服されることを皆様と共に心より祈念致します。



## 「自分らしくあるために 備えておきたいこと ～がん経験者からのメッセージ～」

松本 陽子 氏

NPO法人愛媛がんサポート  
おれんじの会理事長



## 千葉大学病院のスタッフがお話しします

## with コロナ時代のがん治療 —変わらないサポートがここにある—

1965年愛媛県出身。高校3年生のときに父親をがんで亡くし、33歳のときに子宮頸がんの治療を受けました。2008年から、がん患者・家族の当事者団体で活動しています。

治療を受けているときに、情報不足や先行きのみえない不安などからひどく落ち込み自分が自分でなくなるような辛い思いをしました。この経験から考える「自分らしくあるために備えておきたいこと」をお伝えします。2人に1人ががんと向き合う時代の備えについて考えるキッカケになればうれしいです。



猪狩 英俊  
感染症内科



千葉大学医学部附属病院では、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を想定し、年明け早々より、患者の受け入れ準備を始めました。そして、最初の患者さんを、1月末に診断することになります。この1年間の経験を交えながら、新型コロナウイルス感染症について述べたいと思います。新しい知見や治療方法が開発されたこと、感染対策の重要性と科学的根拠は重視したいと思います。

岩澤 俊一郎  
呼吸器内科 医師



がん治療とともに、呼吸器内科医としては新型コロナウイルス診療にもたずさわっています。“新型”ではありながら、今後は日常として対応してゆく必要のある新型コロナウイルスに対して正しい知識をもって、いま、目の前に見えているがんへの治療を適切に進めるために、お話をさせていただきたいと思っています。

佐伯 美香  
薬剤部



薬剤師は患者の皆様へ抗がん剤による治療を安全に提供するために、投与量や飲み合わせなどさまざまな確認を行っています。本日は現在の状況におけるがん治療中の感染対策についてご紹介したいと思います。今回のお話が皆様のお役に立てば幸いです。

田邊 亜純  
看護部



私は、食道胃腸外科病棟で勤務しながら、がん看護専門看護師としてがん看護専門外来で患者さんの生活や治療に対する悩み・不安などのサポートをおこなっています。コロナ禍で、がん患者さんご自身・ご家族は治療や療養についてたくさん不安を抱えていらっしゃると思います。看護師からみた治療や療養への向き合い方をお伝えできればと思っています。

山口 梨沙  
地域医療連携部



私たち地域医療連携部では安心して適切な療養生活を送れますよう、ソーシャルワーカーと看護師が患者さんやご家族の医療と福祉に関する相談をお受けしております。

現在、新型コロナウイルス院内感染防止のため面会制限がありますが、これまで通り安心した療養生活を送れますように工夫をしながらご相談に応じています。





13:00~13:10	開会のあいさつ	病院長 横手幸太郎
13:10~14:40	講演	
	<b>講演 1</b> 新型コロナウイルス感染症の流行について 千葉大学病院の診療体制とがん治療	猪狩英俊 (感染症内科)
	<b>講演 2</b> みえているがん と みえない新型コロナウイルス の対応 知識は恐怖の解毒剤	岩澤俊一郎 (呼吸器内科)
	<b>講演 3</b> 知っておきたい感染予防のはなし 消毒液の正しい使い方	佐伯美香 (薬剤部)
	<b>講演 4</b> コロナ禍でのがん (治療・療養) との向き合い方	田邊亜純 (看護部)
	<b>講演 5</b> がん相談支援センターってどんなところ？	山口梨沙 (地域医療連携部)
14:40~14:55	休憩	
14:55~15:10	質疑応答	滝口裕一 (腫瘍内科)
15:10~15:55	<b>特別講演</b> 自分らしくあるために備えておきたいこと ～がん経験者からのメッセージ～	松本陽子氏 (NPO法人 愛媛がんサポート おれんじの会)
15:55~16:00	閉会のあいさつ	副病院長 吉野一郎

プログラムの時間は前後することがあります

